



ニュース

第29号

2011年8月25日発行
 トップス広島 事務局
 〒733-0036
 広島市西区観音新町4-10-2
 広島西飛行場ターミナルビル1F
 TEL; 082-233-3233 FAX; 082-233-3251
 URL; www.tops-h.net

ニュース

加盟団体

- ・ NTT西日本広島 ソフトテニスクラブ
- ・ サンフレッチェ広島
- ・ JTサンダーズ
- ・ 湧永製菓
- ・ 広島メイプルレッズ
- ・ 広島ガスバドミントン部
- ・ 中国電力陸上競技部
- ・ コカ・コーラウエスト レッドスパークスホッケー部
- ・ 広島東洋カープ

中国ミニ国体が岡山県内で開かれており、バレーボールのJT、ソフトテニス女子のNTT西日本広島が山口国体の出場権を獲得した。ホッケーのコカ・コーラWRSは1位となり、九州代表と代表権を争う。また、ソフトテニスの成年男子（NTT西日本広島）とバドミントンの広島ガスは本大会に出場する。ハンドボールは27、28日にあり、湧永製菓、広島メイプルレッズが出場する。

バレーボールJT

(20日・岡山市総合文化体育館)
 ※成年男子6人制
 ▽1回戦
 ○3(25-18、25-15、25-11)0岡山(選抜)
 ▽決勝
 ○3(25-18、25-14、25-16)0鳥取(選抜)

ソフトテニス NTT西日本広島

(20、21日・備前テニセン南コート)
 ※成年女子
 ▽リーグ戦
 ○2-1岡山 ○3-0鳥根
 ○3-0鳥取 *順位 ①広島3勝

ホッケー コカ・コーラWRS

(20、21日 赤磐市熊山運動公園)
 ※成年女子
 ▽1回戦
 ○9(2-0、7-0)0岡山
 ▽決勝
 ○9(6-0、3-0)0鳥根

バドミントン 広島ガス

★県代表選考会=成年女子
 (7月16、17日 西区SCほか)
 【シングルス】
 ▽1回戦 井上春奈2-0吉川純子(龍谷大) ▽準決勝 井上春奈2-0小池温子、井上静華2-0榎本若菜(愛媛大)
 ▽3位決定戦 小池温子2-0榎本若菜 ▽決勝 井上静華2-0井上春奈
 【ダブルス】
 ▽決勝 小池温子・井上春奈2-0吉川純子(龍谷大)・榎本若菜(愛媛大)

中国ミニ国体 広島県代表

長江 光一



佐々木 舞



大庭 彩加



ソフトテニスの世界選手権(10月・韓国開慶)日本代表にNTT西日本広島から男子は長江光一、女子は佐々木舞、大庭彩加の3人が選ばれた。また、今春現役を退いた中堀成生が男子コーチを務める。5月に広島であった選考会で男女各2人が決まったあと合宿を経て男女各4人を選んだ。



3人が代表 世界選手権

女子3年ぶり11度目の優勝 全日本実業団選手権

《全日本実業団選手権 NTTの成績》
 【男子】
 ▽2回戦 ○2-0豊田自動織機 ▽3回戦 ○2-0日亜化学工業A ▽4回戦 ○2-1大鹿印刷B ▽準決勝 ○2-1宇部興産B ▽準決勝 ●1-2川崎重工明石
 ※メンバー 村上雄人・原佑輝・堀晃大・長江光一、水澤悠太・高川経生
 【女子】
 ▽予選リーグB組 ○3-0旭化成、○3-0アイシン・エイ・ダブリュ *順位 ①NTT西日本広島2勝②旭化成1勝1敗③アイシン・エイ・ダブリュ2敗
 ▽準々決勝 ○2-0太平洋工業A ▽準決勝 ○2-0東芝姫路 ▽決勝 ○2-0ナガセケンコー
 ※メンバー 塔田光理・小林美咲、佐々木舞・大庭彩加、榎本有花・黒木愛実

全日本実業団選手権は7月30、31日、岐阜県の瑞浪市民テニスコートなどで開かれ、女子でNTT西日本広島は、予選リーグから1ゲームも落とさないパーフェクトな戦いで3年ぶり11度目の優勝を飾った。
 大会史上初の4連覇を目指した男子は、準決勝で川崎重工明石に1-2で敗れ、決勝進出を前に姿を消した。

男子は館越・原がV 女子は3位まで独占 全日本選手権県予選



がんばろう！東北 酒井の地元福島で教室

東日本大震災の被災者を励まそうと7月30日、酒井の地元福島県郡山でバレーボール教室を開いた。小川、八子、田村に平野コーチがスポーツ少年団の100人余に手ほどきした。

全日本選手権県予選は7日、海田総合運動公園で開かれた。
 男子は館越・原が出場し2回戦から登場、順当に優勝を飾った。
 3ペアが出場した女子は5組がリーグ戦を行った。その結果、1位は4戦全勝の塔田・小林。2位は三好・伊東、3位に榎本・黒木が入り、上位を独占した。

【男子】=館越・原
 ▽2回戦 ○5-1太田・公門(日新製鋼呉)
 ▽準々決勝 ○5-4山崎・吉長(マツダ)
 ▽準決勝 ○5-2池田(福山STJ)・石川(府中STC) ▽決勝 ○5-2山口・中原(マツダ)
 【女子】=リーグ戦 ①塔田・小林4勝②三好・伊東3勝1敗③榎本・黒木2勝2敗

《22試合終了時点の勝敗》
9勝5分け8敗
勝ち点32 6位



国際親善試合 日本 vs 韓国

W杯アジア3次予選前の最後の実戦、キリンチャレンジカップ、日本-韓国(10日・札幌ドーム)で李忠成が1トップで先発。先制点につながる絶妙のアシストで勝利に貢献した。前半35分。右サイドからの遠藤(G大阪)のパスに反応、中央へ走りこんだ香川(ドルトムント)にヒールパスを渡し、香川のゴールにつないだ。自身のゴールはなかったがW杯予選へ弾みをつけた。

李 絶妙アシスト

上位定着へ正念場
リーグ終盤、一段と激しさ

J1リーグは残り3分の1を切った。サンフレッチェは22試合を終えて6位。上位定着のためには負けれない戦いが続く。4位までとはやや差がついているが、ここからの結果次第では、上位へ踏み止まる可能性は十分だ。幸い、頭蓋骨骨折のDF水本も復帰するなど明るい材料もある。まずはホームでしっかりと星を残し、チーム丸となった戦いを見せてもらいたい。

43勝46敗5分
483 5位
(20日現在)



プロ野球セ・リーグは残り50試合を切ったが、順位は日替わりで入れ替わる激しい戦いを続けている。カープは後半戦で一時は2位になるなど健闘しているが、残り50試合の時点で、43勝46敗5分、勝率4割8分3厘で5位につけている。後半戦最大の目標は「借金ゼロ」だが、なかなかクリアできないもどかしさが続く。8月19日の中日戦では、8月5日の巨人戦に次いで2度目の「借金ゼロ」のチャンスだった。バントをマウンドに送り「今度こそ」と必勝を期した。しかしながら1-2で落とし、勝率5割復帰はならなかった。今後の戦いの焦点は、いつ「勝率5割の壁」を破るかにかかっている。目の前の1戦1戦に集中して白星につなげることが期待される。首位を走るヤクルトはともかく、2位から5位までは僅差の競り合いが今シーズンの最大の興味。どこが抜け出すか。あるいはどのチームが脱落するか。目が離せないペナントレース。そのためにも1試合ごとの勝敗が大きな比重を占める。赤ヘルにとっては、借金返済ができれば、次の目標に向かって光が差し込んでくる。ファンを楽しませてくれる戦いが楽しみだ。

「5割の壁」を突き破れ

ソニーV6阻止だ
☆
全日本社会人
来月岐阜で開催

ホッケーの全日本社会人選手権は9月17日から5日間、岐阜県グリーンスタジアムで開かれる。悲願の初優勝を目指すコカ・コーラウエストレッドスパークスが6連覇を狙うソニーHCを倒せるかが焦点だ。今シーズンの日本リーグは地元で対戦。スコアレスドローで4勝1分けとし、得失点差で首位を守っている。ポイントは日本リーグでも指摘された「シュートを決めきれるか」にかかっている。攻守に全員が集中力を保ち、気迫あるプレーができるか。そしてどのようにチャンスにゴールを奪うか。最後まで強い気持ちでの戦いが期待される。日本リーグプレーオフの前哨戦でもある。

自己新
中国電力
陸上競技部
3000
田子3位

広島ガスバドミントン部 ユニバーシアード日本代表に井上静

自身もとよりチーム初の「日の丸」

バドミントンのユニバーシアードは16日から中国・深圳で開かれたが、広島ガスの新人、井上静華が日本代表入りした。自身の国際大会はもちろんチームとしても初めての代表入り。井上は日体大から今春入社した。昨秋のインカレでシングルス2位に入り、3度の代表選考合宿に参加、男女各6人のメンバーに選ばれた。大阪府吹田市出身で、11歳からバドミントンをはじめ京都西山高から日体大に進んだ。インカレは2009年シングルスで3位となり、昨年の2位につないだ。身長156センチ、体重50キログラム。左利き。アピールポイントがカット。成長した姿を日本リーグで披露するかも。



ハンドボールに触れ、レオリックを声援して…。4日、安芸高田市のホームコートに小中学生らを招いて工場見学会を兼ねて体験会を開いた。選手10人のデモンストレーションには「すごい！」の声が上がり、その後、基本技を手ほどきした。遠く津山からも駆けつけるなど54人が参加した。



すごい！ヨ

工場見学会とハンド体験会
小・中学生ら54人が参加



ジュニアもすくすく成長

対外試合初のベストセブン



広島メイプルレッズのジュニアチーム「広島メイプルレッズジュニアスポーツクラブ」が大阪府堺市立大浜体育館での第2回中学生クラブチームカップに参加、対外試合として初めてのベストセブンに選ばれた。主将の岡山弘樹(古田中3年)＝写真⑥＝とGKの荒瀬太樹(戸坂中2年)。クラブ関係者は驚きとともに喜びはひとしおの様子。大会には長野県以西から男子10チーム、女子6チームが参加、トーナメント方式で争われた。男子のメイプルジュニアは1回戦は大量51点を挙げたが、準々決勝では惜しくも4点差で敗れた。

7月24日にフィンランドの北サヴォラッピンラハティ市で行われた大会の3000人に田子康宏が参加。7分58秒04の自己新をマークして3位に入った。清谷は13位 同日24日に北海道士別市での士別ハーフマラソンには清谷匠が参加し、1時間9分37秒で13位になった。



ロゴマークの意味 広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。